

1. 件名：東京電力ホールディングス（株）福島第一原子力発電所特定原子力施設  
輸送貯蔵兼用キャスクBの気密漏えい検査に関する面談

2. 日時：令和4年6月17日（金） 10時30分～11時00分

3. 場所：原子力規制庁2階執務室等（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 検査グループ 専門検査部門

山元首席原子力専門検査官、川下企画調査官、

津田主任原子力専門検査官、丸山主任原子力専門検査官

山中原子力専門検査官

東京電力ホールディングス（株）

福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所

プール燃料取り出しプログラム部

5・6号燃料取り出しPJグループ担当 他2名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス（株）から、輸送貯蔵兼用キャスクBの使用前検査の準備作業中における一次蓋気密漏えい判定基準超過について説明を行いたい旨の申出があり、面談を行った。

○東京電力ホールディングス（株）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- ・当該事象の経緯について
- ・原因調査の内容と結果について
- ・今後の対策について

○原子力規制庁は、東京電力ホールディングス（株）に対し、必要に応じて情報を提供するよう求めた。

6. その他

資料：乾式キャスク仕立て作業中における一次蓋気密漏えい判定基準超過について